

調 査 研 究 結 果

種目	道 徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観 点	教科書名等 項 目	2・東書	道徳721 道徳821 道徳921	新しい道徳1 新しい道徳2 新しい道徳3
取 扱 内 容	地域への興味関心	第1学年 広島県宮島の彫り職人を扱い、郷土を愛し伝統と文化を考える活動等を取り上げている。 第2学年 秋田県の竿燈祭りを扱い、郷土のために自分に何ができるだろうかと考える活動等を取り上げている。 第3学年 奄美大島の島唄を扱い、自分たちの郷土にはどんな心が息づいているのかを考える活動等を取り上げている。		
	命の連続性	第1学年 命を形で表すと、どのような形になるのかや今までに、命の大切さやありがたさを実感したことには、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめと遊びの違いは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。 第2学年 生命を大切にするために、どのような気持ちが必要かや生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが必要かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友情を育てていく上で、大切にしなければいけないことは何かを考える活動を取り上げている。 第3学年 生まれてきた命とは、どのようなものだと思うかや命を大切に生き抜いていくには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、なぜいじめをなくすことは難しいのかを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第1学年 リオオリンピックに出場した陸上男子の山縣亮太選手を扱い、目標を達成するためにはどのようなことが必要なのかを考える活動等を取り上げている。 第2学年 クラシック音楽のピアニスト舘野泉さんを扱い、夢や理想を実現するためには、何が必要なのかを考える活動等を取り上げている。 第3学年 登山家の三浦雄一郎さんを扱い、より高い目標を目指して生きていくために必要なことは何かを考える活動等を取り上げている。		
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)	第1学年 情報モラルに関する教材を扱い、信頼できる友達付き合いにはどのようなことが必要かと考える活動等を取り上げている。		
	情報化への対応	第1学年 インターネットを扱い、短文投稿サイトに友達の悪口を書くと、どうなってしまうかを話し合う活動を取り上げている。 第2学年 メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていく上で大切にしなければいけないことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。 第3学年 SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするために必要なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。		
	男女平等	第1学年 班での出来事を扱い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることや互いの成長するために尊重する大切さを考える活動等を取り上げている。 第2学年 大縄とびをクラス全員で飛ぶか否かという議論を教材に扱い、差別や偏見のないクラスをつくるために必要なことは何かを考える活動等を取り上げている。 第3学年 被爆経験のある大石又七さんの実体験を扱い、差別や偏見のない社会を築いていくためには何が必要なのかを考える活動等を取り上げている。		

		いじめ問題への対応	<p>第1学年 イラストを見て、いじめにあたるのはどれだろうかとグループで話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第2学年 「あの子のランドセル」という漫画を扱い、それぞれの立場から人の気持ちを考える活動等を取り上げている。</p> <p>第3学年 「ある日の午後から」という読み物を扱い、人をいじめてしまわないためにはどのようなことに気を付けたらよいのかを考える活動等を取り上げている。</p>
内容の構成・排列、分量等	教材数	中心的に扱う教材	<p>第1学年 35 (読み物31, コラム2, その他2)</p> <p>第2学年 35 (読み物31, コラム2, その他2)</p> <p>第3学年 35 (読み物28, コラム3, その他4)</p>
		補助的に扱う教材	<p>第1学年 10 (読み物7・その他3)</p> <p>第2学年 10 (読み物5・その他5)</p> <p>第3学年 10 (読み物5・その他5)</p>
		議論を行い自分との関わりで考察できる工夫	各学年に、教材冒頭の問題提起から解決を図る「考えてみよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。
使用上の配慮等		家庭との架け橋となる工夫	各学期ごとのふり返しシートが用意されており、家庭との共通理解を深めることができるようになっている。
		地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実	各学年に自分が住む地域について考えるきっかけとなる「郷土のことを考える」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。
		自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫	各学年に、学期ごとに学習の記録を残すことができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。
		教材ごとのねらいやテーマの掲載状況	各教材冒頭に、生徒に投げかける形で主題を明示し、導入で考え、議論する方向に導いている。教材によっては導入に漫画の1～2コマを用意し、考え、議論する際の手がかりを示している。
		教材ごとの展開における発問の掲載状況	主体的に学習に取り組む態度を育てることをねらいに、各学年2カ所に役割演技や体験学習を通して議論する教材を設定している。
その他		その他の特色	